

外来心臓リハビリテーション 健康館 5階 リハビリテーション室にて実施

外来心臓リハビリテーションでは、退院後の体力向上、症状確認、再入院の是正や再発の予防を目的とした生活指導など、安心して生活を送って頂くための援助を行っています。

リハ内容

- 自転車エルゴメーター：30～35分〔心電図・血圧・脈拍測定〕
- 集団体操：15～20分〔チューブ体操・ストレッチ・自重体操〕
- 運動指導：状態に応じた運動量を提案。
※運動は個人の体調に合わせて調整いたします。



看護外来

- 体調管理：早期に体調不良を把握し再入院を防止します。
- 生活状況の聞き取りや症状チェックなどから、日々の生活指導も行います。
- 退院後、体調面で不安がある場合は、必要に応じて介入いたします。

心リハのできる拠点は西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院、西宮渡辺心臓脳・血管センター、西宮渡辺川藤リハビリクリニックの3ヶ所となっております。通院場所については御相談下さい。

栄養指導

健康館1階健康テラスでは、管理栄養士による栄養指導も行っております(予約制)。食材の選択、味付け(塩分調整)、水分摂取量の確認など、健康管理に役立てて頂き、再入院の是正や再発の予防につなげていきます。



人間ドックのご案内

当院では、地域の皆さまが健康に働き活動できる生活環境づくりの一環として、疾病の早期発見・予防を目的とした人間ドックを随時受け付けております。高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は、自覚症状が出る前に早期に発見し早期に治療を行えば、脳卒中や心筋梗塞の原因となる動脈硬化などを未然に防ぐことができます。健康に不安があるという方も、不安なんてないという方も、この機会に当院までご相談ください。

半日コース ¥38,500

- 身体測定
- 視力検査
- 聴力検査
- 尿検査
- 胸部レントゲン
- 血液検査
(血液一般、脂質、糖質、腎臓、感染症)
- 胃カメラ
- 心電図
- 胸腹部CT
- 頭部CT
- 便潜血
- 栄養指導

半日コース+脳ドック ¥55,000

- 上記の半日コースに下記が追加されます。
- 頭部MRI+MRA
 - 頸動脈エコー

曜日 毎週 火曜日・木曜日 時間 8時30分～11時頃

まずは、下記の電話番号までお電話お願い致します。日程の調整をさせていただきます。日程調整後に詳細案内と検便容器を送付させていただきます。

社会医療法人渡邊高記念会西宮渡辺心臓脳・血管センター 健康館

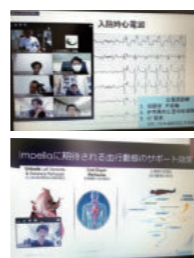
〒662-0911 西宮市池田町3-25 TEL.0798-36-1860

「第14回西宮二次救急輪番循環器カンファレンス」(WEB開催)

西宮二次救急輪番担当病院の明和病院、西宮市立中央病院、兵庫医科大学付属病院及び当院の4病院で年4回のカンファレンスをこれまで行ってきました。参加病院の医師、コメディカルに加え、消防局の救急救命士が参加し、地域病院及び救急隊との連携したカンファレンスとして開催しています。

今回4月は、COVID-19の感染拡大に伴い中止し、今回2020年9月11日にWEBにて開催され、各病院から1演題ずつ発表があり、質疑応答が行われました。WEB開催の利点を生かし、今後は、より多くの方の参加をしていただける地域医療機関、救急隊と連携したカンファレンスとしていきたいです。

(西宮渡辺心臓脳・血管センター 院長 民田 浩一)

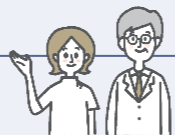


法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション
- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえば / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。



【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/

西宮渡辺病院 開院記念

西宮渡辺病院 理事長 佐々木 恭子



11月1日は西宮渡辺病院の開院記念日です。法人には沢山の記念日がありますが、渡辺病院の開院記念日は法人の原点を見直すための大切な記念日です。1965年開設の西宮渡辺病院は今年55周年を迎えます。今年は本院である西宮渡辺病院が兵庫県下で初めて社会医療法人認定を受けて10周年の記念すべき年でもあります。

現在法人は今年初頭から続く新型コロナ禍で大変な日々を送っていますが、コロナ禍における私どもスタッフの活躍は地域医療への貢献を目指してきた私ども法人のあり方そのものであり、記念すべき年に相応しい活躍であることを感じています。玄関入り口での検温やお見舞い制限など、皆様には多大なご迷惑とご協力をお願いしていますがどうかもうしばらく、ご協力の程よろしくお願い致します。現在法人は池田町の『西宮渡辺心臓脳・血管センター』、前浜町にある老健施設や「脳卒中心臓リハビリテーション病院」、甲子園にある「心臓リハビリクリニック」、さらには認知症対応グループホーム(市内室川町、前浜町)訪問看護ステーションや居宅介護支援センターなど高度急性期医療から在宅介護に至る様々な病院、施設を運営していますが、やはりその原点は『西宮渡辺病院』であり、11月1日は私ども法人の大切な記念日なのです。西宮渡辺病院は「在宅支援病院」として救急医療から在宅医療に至る包括的な対応が可能です。今年度、整形外科は外傷や関節疾患に加え脊椎外科についても専門常勤医を迎え本格的な活動を開始しています。呼吸器内科専門医も常勤2名体制で高齢化社会における肺炎や呼吸不全に対応可能な体制です。消化器科も外科内科の連携で安心して頂ける体制へと現在進行形の進化を遂げています。法人全体で取り組んできた在宅部門の強化は訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護に止まらず医師の往診や薬剤師、栄養士の訪問も行える体制へと実を結んでいます。急性期病床に続く回復期リハビリ病床や在宅支援包括病棟、退院後を支える訪問医療は皆様の安心と安全を下支える体制で生活支援型医療の実践へと繋がっています。今後ますます進む地域の高齢化を念頭に、更にはwithコロナとwithコロナ後の皆様の安心と安全を念頭に、より一層皆様に貢献できる病院作りに邁進したいと願っています。どうか末長く暖かいご支援とご協力をいただきます様こそよりお願い申し上げます。

西宮渡辺病院 院長・整形外科部長 佐々木 健陽



西宮渡辺病院は、創立55年を迎えることができました。コロナ対応に際して、面会制限など、皆様のご協力に感謝します。さて、本年4月に大阪市立大学より、脊椎脊髄外科 大山翔一郎医師を招聘し、10月より、大阪大学より山下智也医師を迎えました。当院にて、腰痛や手足のしびれなどの脊椎脊髄疾患の最新でレベルの高い診断治療が可能となりました。また、5月より、外傷整形外科、手外科を専門とする高畑智嗣医師も迎えております。人工関節外科・外傷整形外科・脊椎脊髄外科・手外科の専門性の高い整形外科疾患に取り組むことができるようになりました。今月号の中間に当院整形外科の詳細がございまして、ご参照ください。一方、兵庫医科大学 下部消化器外科 池田教授、麻酔科・疼痛制御科 廣瀬教授の特別診療も引き続き行っています。みなさまには、気軽に最新の医療を当院にて提供できるようになりました。今後とも、敬天愛人の理念のもと、地域の皆様に安心と安全な医療を継続的に提供できるよう、これからも一歩ずつ進んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



西宮渡辺病院 整形外科のご紹介



「はじめに」 整形外科 部長：福岡 慎一

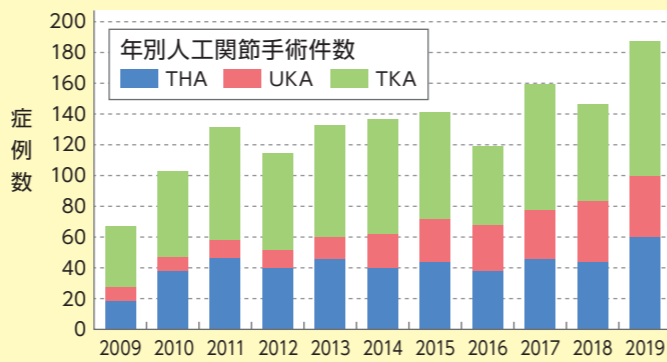
西宮渡辺病院整形外科では、専門性が高く根拠に基づいた医療を徹底し、地域の皆様により良い医療を提供できるように日々努力しております。2009年4月人工関節センター、2020年5月外傷、手外科専門チーム、10月より脊椎センターを立ち上げ、徐々に体制が整ってきました。整形外科疾患を予防・治療することは寿命の延長に繋がります。是非、当院の整形外科にお越しください。

常勤医9名(佐々木、高畑、福岡、山下、谷浦、福永、大山、伊東、石河)による一般整形外科診療、関節外科は常勤医3名(高岡顧問、福岡、福永)、外傷、手外科専門常勤医3名(佐々木、高畑、谷浦)、脊椎診療は常勤医2名(山下、大山)が最新の医療を提供することが可能です。

「西宮人工関節センター」 顧問：高岡 邦夫、センター長：福岡 慎一、医員：福永 健治

当人工関節センターでは、関節痛により著しい歩行障害などで日常生活に支障をきたしている変形性膝関節症、大腿骨内顆骨壊死、関節リウマチ、変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、大腿骨頸部骨折の疾患に対して、人工関節置換術を積極的に勧めております。関節痛はあっても、日常生活に支障のない症例においては、保存的治療を勧めております。人工膝関節術中ナビゲーションシステム(Knee Align)や人工股関節術前3D計画システム(ZED Hip)を採用し、これまでよりさらに正確にインプラントの設置が可能となり、長期人工関節の機能を維持できる方法として取り組んでおります。術後疼痛や活動性の改善はもちろんのこと、満足度の改善も目指し治療しております。

2019年まで合計1,424例の人工関節手術を施行しています



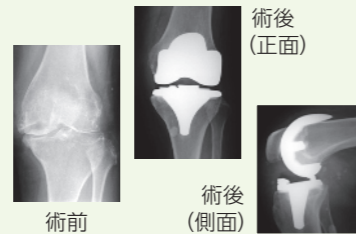
単顆置換型人工膝関節 (UKA) (Unicompartmental Knee Arthroplasty)

内側あるいは外側単顆に局限した変形性関節症や骨壊死に対しては単顆置換型人工膝関節(UKA)を施行。傷が小さくすみ、靭帯を全て温存するため術後は早期社会復帰や膝の自然な動きが再現でき膝の曲げ伸ばしにあまり制限がないなど大きな特徴をもっています。



全人工膝関節 (TKA) (Total Knee Arthroplasty)

UKAが適応となるような単顆部の疾患では無く、より高度な変形性膝関節症や関節リウマチには全人工膝関節置換術(TKA)が適応になります。



全人工股関節 (THA) (Total Hip Arthroplasty)

変形性股関節症、関節リウマチの股関節罹患、大腿骨頭壊死などに対して全人工股関節置換術(THA)を施行します。当科では固定法は可能な限りセメントを用いないで行っています。



「手外科」 外傷整形外科部長：高畑 智嗣

対象は手や指のしびれや使いにくさや変形です。手や指の骨折や切り傷も扱います。例えば、母指から中指のしびれは**手根管症候群**が原因のことがあり、手首への注射や手術で軽減します。指の屈伸時のひっかかりは**ばね指**のことがあり、注射で高率に改善します。右図に示す小指の変形は**デュピュイトラン拘縮**と言い、治療には皮下のしこりの摘出手術が必要でしたが、手外科専門医には注射治療が許可されており当院で可能です。それ以外にも、手や指の様々な不自由や不安に対応します。手外科専門医の高畑が担当ですので、診察日にご注意ください。紹介状なしでも診療します。



皮下のしこりのために薬指と小指が伸ばせない

「外傷整形外科」 院長：佐々木 健陽 外傷整形外科部長：高畑 智嗣 医員：谷浦 圭

骨折治療の経験豊富な医師が多数常勤しており、様々な骨折に対応しています。救急車による搬入のほか、いったん他院に入院した患者さんの転院手術や術後リハビリテーションも受け入れております。直接当院を受診される比較的軽症の患者さんもいます。重症例には手術で骨折部を安定化して術直後より動けるようにして、早期に全身の機能を回復させます。軽症例では、例えば高齢者の**手首の骨折**ではギプス治療と手術治療から患者さんに適した方を選択していただきます。**アキレス腱断裂**もギプス治療と手術治療から選んでいただき、手術の場合は日帰りも可能で、4週間後にはギプスを除去して松葉杖なしで歩行できます。



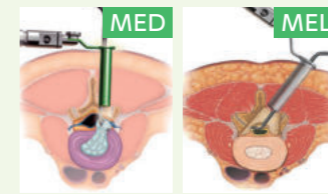
骨折を強固に内固定して手術直後より動いてもらいます
手首の骨折のギプス治療字が書ける人もいます

「西宮脊椎センター」 センター長：山下 智也、副センター長：大山 翔一郎

2020年4月より大山医師が、10月より山下医師が常勤医として赴任いたしました。これまで最前線の病院で脊椎診療を行ってきた両名の赴任に伴い、西宮脊椎センターを開院いたしました。脊椎診療の充実により診察、検査、治療の流れが迅速になり、苦痛のある患者さんをお待たせすることなく治療することができます。また、ほぼ全ての脊椎疾患を高いレベルで治療いたします。手術では内視鏡や顕微鏡による低侵襲手術を原則とします。しかし病状の程度によっては低侵襲手術よりも通常のオープン手術の方が安全・確実に治すことができることも多々あり、個々の患者様にとって最も良い治療を常に提供いたします。

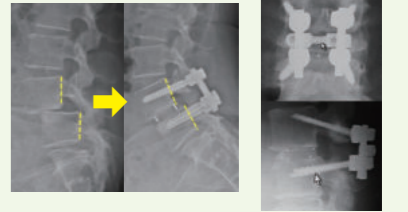
内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED) 内視鏡下椎弓切除術 (MEL)

従来の手術と比べ、傷が小さく筋肉のダメージが少なく術後の痛みが軽減するメリットがあります。



後方進入腰椎椎体間固定術 (PLIF)

高度な変性に対しては除圧に加え固定を行います。1時間半から2時間前後で終了し出血も少ないです。低侵襲なスクリュー刺入法であるCBT法も行います。



新任医師紹介 ！ はじめまして！

西宮渡辺病院 西宮脊椎センター長 山下 智也



関西労災病院、大阪労災病院、国立大阪医療センターにて長年脊椎外科治療を行ってまいりましたので、ほぼ全ての疾患の治療・手術が可能であり、かつ高いレベルでの診療を提供いたします。

私が常に意識していることは、自分や家族が病気になったときに受けたい治療を行うことです。特に脊椎外科においては治療方針の決定が難しいことは多々あり、その方針を誤ればかえってつらい結果となることもあります。個々の患者さんの持つ様々な背景を考慮して最良と思える治療を行います。患者さんには病状の詳しい説明と、手術をしないほうが良いのか、したほうが良いのか、十分にお話をいたします。

年齢を重ねるほどに背骨には異常をきたしやすくなります。昔と異なり現在の高齢者の方々は体力があり、また医療も進歩したおかげで、80歳を超える高齢者の方々へ積極的に治療を行えるようになっております。御高齢の患者さんに対しても豊富な経験に基づいた医療を提供いたします。

整形外科診療表	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	佐々木	佐々木 石河	谷浦	伊東	佐々木	福岡	—	谷浦	佐々木	福永	担当医	—
西宮人工関節センター	—	—	福岡	—	福永	—	—	—	福岡	—	—	—
西宮脊椎センター	大山	山下	—	高橋	山下	大山	大山	山下	—	—	兼松(1・3・5週) 小西(2・4週)	—
手外科・外傷整形外科	—	—	—	高畑	—	—	高畑	—	—	—	—	—
骨粗鬆症・股関節	—	—	—	—	—	担当医	—	—	—	—	—	—

お問合せ TEL：0798-74-2630 FAX：0798-74-0199